

講義コード	1341	科目区分	専門教育科目(スポーツ健康福祉専攻)
(フリガナ)	スポーツボランティアエンシュウ	(フリガナ)	クニキタカハル/フクダカズヨシ/オカザキユウスケ/イガワタカヒロ/ニシヒロフミ
授業科目名	スポーツボランティア演習	担当教員名	國木 孝治/福田一儀/岡崎祐介/井川貴裕/西博史
英文授業科目名	Sports-Volunteer (Field-practices)		
基準年次(開講期)	4年生(前期)	履修形態	選択
曜日/時限/講義室	金曜日/2時限/321		
授業の方法	演習	授業の方法 (詳細情報)	演習中心、実習中心
単位	2	週時間	
授業のキーワード	スポーツボランティア、スポーツボランティア・リーダー、コミュニケーションスキル		
授業概要・目的	<p>本授業は、実際にスポーツボランティア活動に参加することで、対人関係やコミュニケーション能力を高め、教職の専門性を涵養するとともに、地域のニーズに的確に対応する実践的活動を行うことができる能力を身につけることを目的としています。具体的には、担当教員が帯同・指定する萩市・山口県内スポーツ現場での実際のスポーツボランティア活動を各自で選択し、決定後に学内でガイダンス(事前指導)を受けます。その後、通年で15時間以上、選択したスポーツボランティア活動に参加します。その間、適宜教員の指導を受けながら、スポーツボランティア活動の中で学んだことと自身の活動の課題を整理していきます。最終的には、各自のスポーツボランティア体験についてレポートを作成することで、振り返り(事後指導)を行います。</p>		
到達度評価の 評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツボランティアの概要を把握し、活動の意味や輪郭について理解できる。 ・応募先のスポーツイベント等の特徴を調査の上把握し、自ら応募書類を整えて申し込むことができる。 ・延べ15時間以上のスポーツボランティアに積極的に取り組み、責任ある行動をとることができる。 ・参加したスポーツボランティア活動の意義を対象化して説明することができ、自身の活動上の課題を整理することができる。 		
授業計画			
第1回	授業ガイダンス 授業の目標、内容、進め方		
第2回	事前指導 スポーツボランティアの概要説明、応募、活動にあたっての心構えについて		
第3回	スポーツボランティア活動実践①		
第4回	スポーツボランティア活動実践②		
第5回	スポーツボランティア活動実践③		
第6回	スポーツボランティア活動実践④		
第7回	スポーツボランティア活動実践⑤		
第8回	中間期指導		
第9回	スポーツボランティア活動実践⑥		
第10回	スポーツボランティア活動実践⑦		
第11回	スポーツボランティア活動実践⑧		
第12回	スポーツボランティア活動実践⑨		
第13回	スポーツボランティア活動実践⑩		
第14回	活動報告レポートの作成		
第15回	授業総括 スポーツボランティア活動報告会での発表。まとめ		
教科書・参考書等	適宜資料を用意する。		
授業で使用する 機器等	音声教材、映像(ビデオ/PC/その他画像資料)		
予習・復習への アドバイス	各回とも講義内容を確認し、参考文献・資料を読む。		
履修上の注意・ 受講条件等	<ul style="list-style-type: none"> ・専攻問わず誰でも履修できます。 ・平成29年度入学生は、「スポーツボランティア論」を履修したうえで本科目を履修して下さい。 		
成績評価の基準等	スポーツボランティア参加実績、および活動実践終了後の活動報告レポートと報告会での発表、学内での指導(中間期指導)への参加度によって総合的に評価する。		
メッセージ	ボランティアに参加するための、交通費等の諸費用は、各自の負担になります。		
オフィス・アワー	各期オフィス・アワー時に國木孝治研究室(7号館:726)にて対応する。		
その他	日本体育協会認定『ジュニアスポーツ指導員』、日本スポーツボランティアネットワーク『スポーツボランティア・リーダー』、日本ライフセービング協会『ライフセービング・サポーター』への道が開けます。		